

(第2号様式)

知 念 第 2622 号
平成 27 年 3 月 18 日

沖縄県教育委員会教育長 殿

沖縄県立知念学校
校長 神谷 孝

平成26年度県立知念学校学校評議員について(報告)

平成27年1月5日付け教県第3031号により依頼のありました、みだしのことについて下記のとおり報告します。

記

1 日時、場所、出席状況等

第1回	日時	平成26年7月14日	場所	校長室	出席状況	4人
第2回	日時	平成26年12月18日	場所	校長室	出席状況	5人
第3回	日時	平成27年2月17日	場所	校長室	出席状況	5人

2 学校評議員に求めた事項

- (1) 学校の現状と課題に関する意見
- (2) 進路指導に関する意見
- (3) 生徒指導に関する意見
- (4) 学校評価に関する意見
- (5) その他学校の教育活動に関する意見

3 学校評議員の意見

- (1) 学校経営について教育目標に対する職員の姿勢や、生徒の現状が分かりやすく説明されていた。
- (2) 家庭学習の習慣化について、更に取り組んでもらいたい。
- (3) 進路指導では、毎年進路決定率の伸びがめざましく、今後にも期待している。
- (4) 学校評価については、学校生活を楽しく過ごしている生徒が多くいることが分かり、今後も期待している。

4 学校運営に反映した事項

- (1) 沖女短が東浜に移転するに当たり、高大連携の推進を行って欲しいという意見に対し、家庭科への出前講座や家庭教育の出前講座を実現した。
- (2) 教職員のメンタル面はどうなっているかという質問に対し、教職員のメンタルの把握について、アンケート調査を行い未然予防について喚起した。
- (3) 学習環境の整備の点からクーラーの稼働時間や温度設定についての意見に対し、温度管理を適切に行い、各クラスに扇風機を2台ずつ設置した。

5 課題その他

- (1) 家庭学習の定着について、より強化する必要がある。
- (2) 文武両道を強化する必要がある。
- (3) 国公立大学への進学を増やすよう、全職員で取り組んでいく必要がある。